

シーボスの全体像

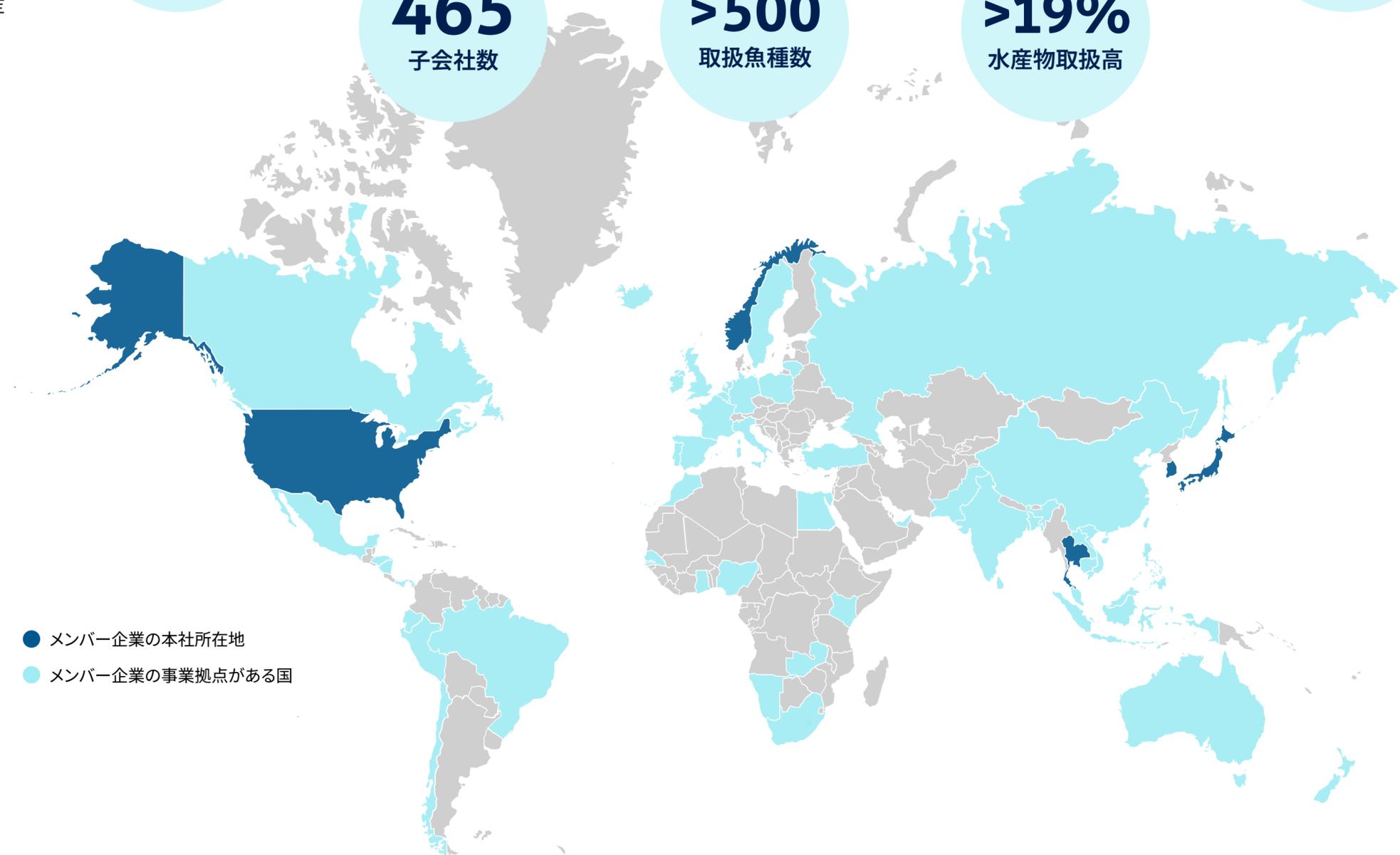
海洋管理の為に水産事業(シーボス)は世界の大手水産会社9社による協働体です。シーボスは科学者が世界の大手企業が体系的な変化を本当に推進することができるのかどうかの評価を目的として始めた一連のキーストーン・ダイアログの結果なのです。ストックホルム・レジリエンス・センターによって集められた先進的研究機関の科学者達が独立した資金でシーボスのメンバー企業と協働し、メンバー企業が持続可能な水産物の生産や健全な海洋の実現を目指して世界的な変革をリードする手伝いをしています。メンバー企業の水産物取扱数量合計は世界の水産物全体の19%を超え、子会社の数は465社以上となります。シーボスはメンバー企業から集めた会費によって置かれた事務局の基に活動しています。



シーボスのメンバー



科学的連携機関



全体概要：シーボスの目標及び活動 2022-23

シーボスのミッションは持続可能な水産物の生産と健全な海洋の実現に向けた世界的な変革を主導することです。2020及び2021年にかけてのキーストーン・ダイアログでシーボスのメンバー企業のCEOによって5つの時間軸を伴う目標が合意されました。以下にこれらの目標と2022-2023年における進捗状況を示します。

					
目標	IUU漁業, 強制労働, 児童労働の撲滅 IUU漁業を削減し強制労働、児童労働を排除	生物多様性と生態系システムの保全 絶滅危惧種の保護の推進	抗生物質耐性菌の問題 抗菌剤の使用削減	気候変動問題 気候変動問題への取組	海洋プラスチック問題 プラスチック汚染の減少
評価尺度	IUU漁業や強制労働や児童労働のリスクの調査	対象となるIUCNレッドリスト生物種の特定	精度の高い抗菌剤データの科学者との共有	スコープ1&2GHG排出量の算出	プラスチック使用量把握と管理
全体進捗状況	 社会問題に関するサプライヤー調査の実施	 生物多様性リスク及び自然環境への影響の調査の実施	 抗菌剤削減の為にロードマップの策定	 排出削減目標を設定し9社中7社はスコープ3の排出量を報告	 プラスチック削減戦略を導入し9社中7社はプラスチック使用量を開示
結果	大多数のメンバー企業で自社オペレーションやサプライチェーンにおける強制労働やIUU漁業の調査を実施	事業及びサプライチェーンにおける生物多様性リスクや影響の調査、管理に着手	抗菌剤使用の数量集計及び開示に関する透明性の増大	スコープ1,2,3の排出量の算出と目標設定、いくつかのメンバー企業では排出削減目標の達成	世界各地で海岸清掃活動を行い25トンのプラスチックごみを回収。プラスチック削減の取組を実施しプラスチック包材の使用量を算出。

* シーボスの時間軸を伴う目標の詳細については[ここ](#)を参照下さい。